

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2022年5月号

CONTENTS

- ◇ ベトナム通信 ～入国制限緩和による影響～ P.2～
- ◇ アセアン駐在員コラム P.5
- ◇ アセアン各国ニューストピックス P.6
- ◇ アセアン・インド休日情報 2022年2月～2022年4月 P.7
- ◇ めぶきアジアネットワークのご紹介 P.8～

常陽銀行シンガポール
駐在員事務所
63 Market Street #11-03
Bank of Singapore
Centre,
Singapore 048942
TEL:65-6225-6543

足利銀行バンコク
駐在員事務所
689, Bhiraj Tower
at EmQuartier,
27th Floor, Room
No. 2714, Sukhumvit
Road, Klongton-nue,
Wattana, Bangkok
10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

常陽銀行ハノイ
駐在員事務所
5th Floor, Sun Red
River,
23 Phan Chu Trinh
Street,
Hoan Kiem District,
Hanoi, Vietnam
TEL:84-24-3218-1668

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



常陽銀行



足利銀行



めぶきフィナンシャルグループ

～はじめに～

ベトナムでは、2022年3月に、約2年ぶりに短期滞在者に対するビザ免除措置を再開しました。コロナ関連の規制は2021年10月から段階的に緩和され、2022年4月末現在では国際線の定期便も再開されています。新型コロナウイルスの発生から約2年が経ち、いよいよ経済活動再開へ踏み出したベトナムの動向について、現地の声も交えながらお伝えします。

1. 入国制限の状況

▶ Point : 2022年3月15日から隔離なし、ビザ免除措置再開

ベトナムでは2022年3月15日からコロナ関連の入国制限が緩和されました。ワクチン2回以上の接種者は入国後の隔離が不要となり、15日以内の短期滞在者については、コロナ禍前に実施していたビザ免除処置が再開されました。入国制限が厳しい時期には約1ヶ月の隔離を強いられたこともありましたが、ワクチン接種が進むなか、今回は一気に緩和されたという印象があります。早速、入国制限が緩和されて間もない3月18日に、日本からハノイへ入国された方に入国審査や空港の様子をお聞きしました。



出国前にワクチン接種証明と72時間以内のPCR検査の陰性証明書を取得しておけば、ベトナム入国時の手続きはほとんどなく、入国審査から到着ゲートを出るまで非常にスムーズでした。空港到着口では、ネームカードを掲げて宿泊者を出迎えるホテル関係者が大勢いて、賑やかな雰囲気がありました。私は目的地までタクシーを利用しましたが、運転手が嫌な顔ひとつせず受け入れてくれたのが印象的でした。

	旧 (2022年1月～2022年3月14日)	新 (2022年3月15日～)
隔離期間	ワクチン未接種者 14日 (ホテル隔離7日 + 健康観察7日) ワクチン2回接種者 14日 (ホテル隔離3日 + 健康観察11日)	ワクチン2回以上接種者について、原則ベトナム国内に到着後の隔離なし
ホテル	指定なし (ホテル隔離は必要)	自由 (自宅・滞在先ホテル)
行動制限	隔離後、滞在先の申請が必要	なし
ビザ	特別入国許可の取得が必要	短期滞在者に対してビザ免除措置 (ノービザ入国) を再開

図1：ベトナム入国規制の新旧対比表



図2：国際線の到着口の様子

(図1 出典：各種報道を基に筆者作成) (図2出典：取引先提供)

2.ベトナム国内の様子

▶Point : 国内の行動制限は実質全面解除

2022年4月現在、ベトナム国内全域が行動規制のないレベル1地域（グリーンエリア）となっており、公共の場でのマスク着用は義務付けられていますが、実質全面解除となったといえます。

2021年7月～9月のロックダウンの時期には、日中であっても交通量はまばらで、街を歩く人もほとんど見られませんでした（図3）。

2022年3月下旬の規制緩和以降、ハノイでは週末の歩行者天国が再開し、市内のレストランでは食事を楽しむ人も多く見かけます（図4、5）。

最近では、街中で欧米人の観光客を見かける機会も増えるなど、コロナ禍前の賑わいを取り戻しつつあります。



図3：ロックダウン時の様子（2021年8月ごろ）



図4：ハノイ市の中心街の歩行者天国（2022年4月現在）



図5：週末のレストランの様子（2022年4月現在）

▶Point : 日本人の日越往来が増加

コロナ禍以降、日越双方において入国後に隔離期間が設けられていたことから、緊急性の高い理由がなければ一時帰国を見合わせる駐在員がほとんどでした。そうした中、今回のベトナム入国制限の緩和に加え、4月29日からの「3回以上のワクチン接種者に対するベトナムから日本への入国時の隔離措置の撤廃」も追い風となり、多くの駐在員が日本のゴールデンウィークを利用して、数年ぶりに一時帰国し、家族や親族と久しぶりに再会したようです。

また、日本からの渡航者については、親会社から現地法人への出張者、現地視察や商談を目的に渡航する出張者を中心に、5月～6月にかけて増加することが予想されます。日本⇄ハノイの空路については、コロナ禍以降JAL・ANAともに週1便のみの運行でしたが、人の往来の回復にあわせ、現在（2022年4月末現在）では毎日運行されています。

一方で、ベトナム国内の1日当たりのコロナ新規感染者数は依然として数万人規模（4月末時点）となっており、渡航後の感染リスクも高いことから、現地では十分な感染対策が必要です。

（図3～5出典：筆者撮影）

3.既存進出企業へのインタビュー

▶Point : 規制緩和後、日系企業を含む現地企業の生産能力が回復

2021年7月～9月のロックダウンの時期には、移動制限などの厳格な規制が適用されていたため、多くの工場において操業に支障が生じましたが、同年10月からの段階的な規制緩和によって、ベトナムに進出している日系企業は自社の生産体制を立て直してきました。現在ではほぼ平常通りに業務を行っています。

今回はベトナムに進出されているA社に、コロナ感染が拡大していた時期と現在の自社の工場運営に関する取組みについてお話を伺いました。

【A社の基本情報】

- ・ 製造業（自動車向け、ベトナム工場では主にモールド成型、組立て）
- ・ 従業員81名（日本人駐在員1名、スタッフ8名、ワーカー72名）
- ・ 敷地面積：12,000㎡、建屋面積：4,875㎡



図6：憩いの場のベンチと池



図7：多くの従業員が利用する自動販売機

(図6.7 筆者撮影)

○当社の概要

当社は、首都ハノイから南に1時間ほどにあるハナム省の工業団地に2014年に進出しました。

○コロナ感染拡大期の工場運営状況

2021年7月～9月にかけては、当社もロックダウンの影響を受け、工場に泊まり込みをし、操業を継続していた時期がありました。当初は従業員数名のみが工場に泊まり込み、最低限の生産だけ行っていましたが、それでも生産が間に合わず、徐々に泊まり込みをする従業員の数を増やしました。従業員の中には泊まり込みを嫌がる人もいましたが、衣食住の環境を整え、それぞれの要望をよく聞いたことで、最終的に全員が泊まり込みに応じました。この経験から、職場環境の重要性を改めて認識し、工場敷地内にベンチや自販機の導入を行いました。

○現在の工場運営状況

現在では、工場操業は通常の体制へ戻っています。しかしながら、コロナ陽性者は原則自宅療養となることから、一時的に人手不足となるリスクもあります。当社でもこれまでに数名の感染者が出ましたが、幸いにも全員無症状かつ1週間の自宅療養であったため、長期間人手不足に陥ったことはありません。以前は、感染者が出るとハナム省から感染者の隔離や濃厚接触者の特定、生産ラインの停止などの指示がありましたが、現在は上記対応を求められることはなく、現地ではほとんど風邪のような扱いとなっています。

4.まとめ

ベトナムでは、今回の入国制限の緩和や行動制限の解除のように、新たな発令が進出企業の実務に大きな影響を与えます。当事務所ではこうした最新の現地情報をもとに、日本のお客様向けに個別レポートの作成やWeb面談を実施しておりますのでお気軽にお問合せください。



【シンガポール】～シンガポール最新のホーカー～

再開発のため、一旦移転営業していた「マーケットストリート（旧ゴールデンシューカーパーク）」のホーカー（屋台街）が数年ぶりに同じ場所に戻ってきました。きらびやかな金融街の中心にありながら、古くて薄暗く、ローカル感が漂っていたこのホーカーですが、現在は様変わりし、つい先日竣工したばかりの51階建てのビルに入居しています。以前は狭く混雑した階段を登っていましたが、現在はエスカレーターやエレベーターを利用することができます。再開後もランチタイムは以前と同様、長蛇の列で熱気に溢れています。シンガポールには他にも個性的なホーカーがたくさんあります。ホーカー巡りで地元の熱気を感じてみるのはいかがでしょうか。

常陽銀行シンガポール駐在員事務所
現地スタッフ 関 順

【ホーカーが入居するビル（左）と食器回収用のベルトコンベア（右）】



【筆者撮影】

【ハノイの繁華街のターヒエン通り】



【筆者撮影】



【ベトナム】～コロナ前の日常生活に～

ベトナムでは、1日あたりの新規感染者数が2万人前後（4月時点）と、ピーク時の10分の1程度となりました。国内の減少トレンドに先行し、3月15日から約2年ぶりに隔離なしで外国人の観光客受け入れを再開しました。ハノイでは、バーやカラオケなどの営業もほぼ同じタイミングで再開しており、これまで実施されてきた行動規制はほぼ解除されました。国内観光需要もコロナ前の水準に戻りつつあり、外国人の観光客も見かけるようになりました。市中心部では朝や夕方の渋滞が増え始め、ベトナムの日常生活の復活はもう目の前です。

常陽銀行ハノイ駐在員事務所
現地スタッフ グエン ティ トウイ



【タイ】～入国規制の緩和～

タイでは、ワクチン未接種者は到着後に5日間隔離しなければなりません。ワクチン接種完了者（2回目接種から14日間経過）は、現在入国時のPCR検査や隔離もなくタイへの入国が可能となっています。

2022年4月までは、入国時にPCR検査を受け、結果が出るまでの1日はホテルでの待機が必要でしたが、5月以降は検査も待機も撤廃され、入国後すぐに旅行ができるようになりました。入国規制を緩和したおかげで多くの観光客がタイを訪れるようになり、街にも賑わいが戻ってきています。入国規制の緩和は、タイを旅したい観光客にとっては嬉しいニュースです。

足利銀行バンコク駐在員事務所
現地スタッフ ピンパーペン・サウィター

【ホテルのチェックインの様子】



【筆者撮影】

〈経済関係NEWS〉

シンガポール



- (4/4) JERA、LNG調達事業の戦略的拠点設立
- (4/12) 不動産投資に活性化予測、入国制限緩和で

マレーシア



- (4/11) エアアジア、乗客に特別料金でコロナ検査提供
- (4/18) JAL、24日からクアラルンプール-成田線を週5便に増便

タイ



- (4/22) タイと越の貿易額、25年までに250億ドルに
- (4/26) タイで天然ガス需給がひっ迫 国産減少、LNGは価格が急騰

インドネシア



- (4/8) 国営電力、EV製造企業に再生エネ準備へ
- (4/22) 株価最高値をわずかに更新、4月で8回目

フィリピン



- (4/5) 直接投資200億ドルも、外資規制緩和で
- (4/25) 全国送電社、25年までに1,600億ペソ投資

ベトナム



- (4/4) HCMC市近隣省市、不動産開発の計画相次ぐ
- (4/18) 化粧品卸プラットフォーム、200万ドル調達

〈その他NEWS〉

シンガポール



- (4/4) 外国人旅行者、有料でワクチン接種可能に
- (4/19) 民間新築住宅、3月は前月比21%増

マレーシア



- (4/25) 新興ジョジョ、国内初のペットタクシー開始
- (4/26) 国内パーム油産業に追い風か インドネシアの食用油輸出禁止で

タイ



- (4/25) テスト&ゴーを5月から廃止 到着時PCR検査も、入国容易に
- (4/26) ベンツ、ディーラー再編でシェア首位奪還へ

インドネシア



- (4/13) 製造業がコスト見直し、石炭特別価格適用で
- (4/22) コロナ治療費、政府負担を37%に引き下げ

フィリピン



- (4/18) 酒造エンペラドール、シンガポール上場へ
- (4/21) マニラウォーター、シンガポール企業と提携

ベトナム



- (4/1) 小売りウィンコマース、4月に100店増設へ
- (4/14) 福岡空港、ベトナム空港総社と姉妹協定

めぶき F G アジアネットワーク (1)

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行 (中国)	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行 (中国)	●		
中国信託商業銀行 (台湾)	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行 (タイ)	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行 (タイ)	●		
バンクネガラインドネシア (インドネシア)	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行 (インドネシア)		●	
ヴィエティンバンク (ベトナム)	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行 (ベトナム)	●	●	
ベトナム外国投資庁 (ベトナム)	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク (フィリピン)	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 (フィリピン)		●	
インドステイト銀行 (インド)	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス (メキシコ)	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか (メキシコ)	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構 (JETRO)	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構 (JICA)	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行 (JBIC)	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険 (NEXI)	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損害保険ジャパン	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティーサービスの提供

めぶき F G アジアネットワーク (2)

◎めぶきFG海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852

